

探偵 ニュース

INDEX

- 池田 康太郎 弁護士 インタビュー
- 探偵雑学コーナー
- 部署紹介 ～調査マネージメント部～
- SDGs への取り組み Vol.3
- お知らせ

発行：原一探偵事務所 探偵ニュース編集部
〒350-0826 埼玉県川越市上寺山 2-1
TEL：0120-85-8011 <https://haraichi.co.jp/>

VOL.20 発行日：2022.03

お客様が主導権をもって戦える「探偵×弁護士」の提携

探偵・弁護士目線で見る

「コロナ禍で変わった浮気」と「アフターケア」

お客様の不安を解消し悩みごとを解決するために、原一探偵事務所では「弁護士との提携」を行っています。今回は提携先「新日本パートナーズ法律事務所」の池田康太郎弁護士に探偵との提携の意味、コロナ禍での浮気と夫婦の形からアフターケアまでお話を伺いました。

浮気の発覚や言い訳にも変化が
～コロナ禍で変わったこと～

池田康太郎弁護士（以下池田） 外出が減って在宅が増えたので、隠れた浮気が増加したような気がします。在宅では仕事やりづらからビジネスホテルを使っている、などの言い訳を使う人がコロナ禍以降増えていきますね。

原一探偵事務所 大原千晶（以下大原）
先生がおっしゃったように、家族にコロナを



うつさないようビジネスホテルでテレワークをしている、という名目で浮気をしているケースがありました。家で仕事をする夫が、主婦の妻がコロナ禍なのにやけに外出することを不信に思っただけで調査をした結果浮気をしていた、ということもありました。

池田 堂々とラブホテルに行かなくなっているケースも増えた気がします。

大原 滞在時間も短くなりましたよね。

緊急事態宣言やまん延防止策で飲食店に行けないことが増えたので、今まで多かった「会って食事をしてホテルへ行って朝まで滞在する」というケースや「週に2～3回会う」ケースが減り「会ってコンビニへ寄って相手の家ホテルでショートステイ」や「週に1回会うか合わないか」というコロナ禍前はあまりなかったケースが増えました。車で会うケースも増えて、公共機関を使わなくなった印象もありますね。

池田 遠出やピンポイントの調査も増えている気がします。

大原 コロナ禍で夫婦が互いの行動を把握できる状況になってよりピンポイントの依頼が増えました。浮気をしているしていないを知ることが大切ですが、その日に相手が言っていることが本当かどうか知りたい心象のお客様が増えたと思います。

池田 コロナ禍1年目は弁護士への相談件数は減っていましたが、2年目から「実は」と夫婦問題の相談が増えました。家の中でずっと一緒にいることで性格の不一致を感じて、「浮気」などの明確な理由がない離婚の相談も増えた印象です。

大原 探偵に相談に来るお客様では、コロナ禍前は修復したいケースが多かったのが今は半々くらいになりました。

ただ修復したい人の理由として、コロナ禍で

先が見えない生活への不安を挙げる人が多いです。浮気の真実はショックでも、コロナ禍が明けてからアクションを起こしたほうがいいと考えている人が増えたと思います。

すぐに離婚はしたくないけれど浮気相手とは別れさせたい方は、いまだに多いですね。原一探偵事務所（以下原一）からの紹介では1時間無料で相談をうけていただいています。池田先生を頼るお客様も多いですね。

池田 不貞絡みだと、「別れさせたい」という相談はやはり多いです。

探偵と弁護士が提携するメリットはお客様が満足する結果をだせること

池田 弊所はユーザーファーストで考えています。原一さんは「お客様に満足いただくために」という姿勢がとて伝わってくる探偵社だと思いい、数ある探偵社の中でも提携をさせてもらっています。

大原 不貞の離婚裁判や任意交渉をする



場合で証拠がないまま法的なアプローチするのと探偵社でとった確たる証拠を持ってアプローチをするのでは、圧倒的に有利さが違いますよね。本来なら裁判をしないといけない場合でも任意交渉で終わることもありえず、長丁場になりそうな裁判が早く終わるなど、期間や費用面を考えても証拠があるとなり違うと聞きました。

池田 証拠があるかないでは全然違います。原一さんのようなきちんとした証拠がある、離婚をしたい場合はもちろんですが、離婚に応じたくない場合にも強みになります。離婚をしたい側でもしたくない側でも探偵で調査をしてから相談に来てもらったほうがこちらが主導権をもって戦えるので、お客様にとっても弁護士にとっても心強いですね。

大原 守りの場合にも生かせるんですね。すぐ納得できます。

池田 お客様が決定権を持てるので強いです。



大原 原一でもいろいろな理由で浮気調査の依頼をいただきますが、自分を守るために証拠がとりたいという方はなかなかないのですね、今後はそういう面からお手伝いしていきたいです。

裁判で勝ちやすい理想の証拠はホテルの出入りや一定の滞在時間を証明できるもの、一番ですか？

池田 そこが一番大切ですね。一人暮らしの家でもホテルと同様の扱いになります。

大原 デート中、街中の路上で堂々とキスをしたっている場合もあります。そういう場合はホテルや家の出入りが無くても証拠になりますよね。

池田 そうですね。キスをしたり抱きついていたりすると、不貞にならなくても離婚を認められた事例があります。

大原 原一の報告書ではそのような証拠も必ず記載しています。人数が少ない探偵社だと長時間張り込めなかったり、全国規模の移動が難しかったりして、ホテルの入りは取れても出る場所は撮れなかったというお話も聞きます。GPSを付けてホテルの証拠だけをとりに行く方法などでは路上のシーンを撮れる確率は少なくなってしまう。原一ではいただいたご契約の時間で証拠になる部分は全て見逃さないので、証拠としては強いと言っています。

コロナ禍で増えた 旅行調査や海外赴任先の調査

池田 原一さんの全国規模の強みは不貞旅行を追ったときに特に感じます。旅行は本気度も高いので証拠としての価値も高いです。北海道から沖縄まで現地のどこへ行ったかまでしっかりと調査してもらえるので、言い訳の余地がない証拠になります。

大原 新幹線や飛行機の駅まではこの探偵社でも追尾可能ですが、その先はまだ踏み込むには難しい部分もあると思います。でも全国に拠点がある原一では旅行先近くの拠点に到着便の情報を伝えるだけで調査を引き継げるので、費用も時間もかけずに確実な調査ができることが強みだと思っています。

池田 すごいと思います。

大原 GOTOトラベルキャンペーンの時期には旅行の調査も増えていました。旅行ができるタイミングは「この隙に」と言わんばかりに「出張」だと嘘をついて浮気相手と旅行に出かけていましたね。その時期は沖縄の調査や温泉地での調査が増えました。

外国に赴任している夫がコロナ禍で帰ってこられないので調べてほしいという依頼では、「CII(国際調査協議会)」に加盟しているの、コロナ禍で日本から調査に行くのは難し



CII 国際調査協議会とは MemberID No.M654

世界的な団体で欧米やアジアなど多様な地域をカバーしていて、50 か国以上の 300 社を超える探偵社や興信所が加盟。
独自の厳しい審査を設けていて、加盟しているということは厳格な審査をクリアしている、それだけ信頼性の高い探偵社ということになる。

い状況下でも現地で連携をとって調査を請け負うことができました。相談員に英語・韓国語・中国語ができる社員がいるので海外のお客様からの問い合わせにも対応できますし、赴任先や出張先の調査への対応でもスムーズに行うことができます。

池田 世界規模で裁判に勝てる証拠がとれるなんてお客様にも心強いですね。

大原 はい。勇気をだして相談に来てくれたお客様が「相談してよかった」と思ってくれるように「探偵×弁護士」が連携をとってこれからもやっていけたらと思います。

池田 弊所は原一さんだけとお付き合い合っています。報告書の顔がばやけていたり、ホテルの入りしか撮ってないなど、いい探偵社もある中で、原一さんの報告書ではそのようなことがありません。原一さんに調査をしてもらうことは、お客様にとってもとてもいいことだと思います。

大原 人が人を追う・撮る難しさは職人さんと同様で技術が必要なので、「人」の力が重要で。その部分にこだわっていることをもっと知ってもらいたいと思っています。

探偵がサポートできる内容ももっと知ってもらって、お客様の生活や人生の困りごとを解決するために、原一を利用してもらいたいのです。どんな無理難題にもお客様のために力の限り精一杯取り組みたいと思っています。



新日本パートナーズ法律事務所
池田 康太郎 第二東京
弁護士会所属

原一さんからの紹介では 1 時間相談無料。お客様のニーズをじっくりと聞いて、ベストな解決方法をご提案いたします。法的な面からも気持ちの面からもお客様を支えます。

ホームページ
<https://www.shinnihon-law.jp/>

探偵雑学 コーナー

探偵になるためにはどうしたらいいの？

探偵には特別な資格や条件はありませんが
独自のトレーニングや経験が大切です。

回答者
調査部 菅家

Q.1 資格は必要？

A

資格は必要ありません。

探偵は届け出を出すことで開業が可能になります。対象を追尾するために車の免許
は必須です。バイクの免許もあるとなおります。また、お客様からのご相談に役
立たせるために、カウンセラーの資格を持っている相談員もいます。

Q.2 学校やトレーニングは必要？

A

特に必要ありません。

原一探偵事務所では探偵学校を経由して入社する必要はあ
りません。入社後に、探偵業法やその他必要な法律の知識
の研修を行い、追尾や撮影の技術はベテランの調査員より
丁寧に学ぶことができます。実際の現場を見て学んだり、
先輩社員を対象者に見立てた訓練を行ったりします。
訓練では個人のレベルに合わせ、ミスが起きやすいポイント
を繰り返し行います。他にも交通安全に関する講習や
さまざまなジャンルの最新の流行など、広い範囲の知識を
勉強します。探偵学校にお金を払って探偵になるより、お
金をもらいながら探偵になれるので原一はお得ですね
(笑)。

Q.3 探偵に向いている人って？

A

調査に必要なスキルが高い人です。

精神面では対象者の動きに興味を持って見ないと
深く掘り下げられないので、「好奇心」や「探求心」
が高い人、一日中歩き回って聞き込んだり一点の出
入口を見続けたりすることができる「忍耐力」があ
る人が向いていると言えます。
技術面では、独自のカメラを製作したりもするので
カメラやドローンなど機械に強い人、少ない情報か
ら調査の結果に導かなければならないことも多いた
めITスキルが高い人も重宝されます。

Q.4 どんな人が探偵になるの？

A

原一にはさまざまな経歴の人がいます。

社会経験を積んでからの入社する人が大半で、飲食業の
経営者や事務仕事の人、建築業などさまざまな分野の人
がいます。もちろん新卒で入社した社員もいます。
車の運転をする仕事をしていたら、毎日のように運転
をする車の追尾などに有利かもしれないですね。

Q.5 探偵って主に どんなことをするの？

A

探偵業はお客様の悩みごとを解決する調査に関わる
こと全てを行います。

原一探偵事務所は、主にお客様のお悩みを聞く窓口の部署
や調査の方向性などの指令を出す部署、報告書の監査をす
る部署などさまざまな部署に分かれています。皆さんが想
像する実際に調査をするのは「調査部」です。
個人や少人数の探偵会社では一人で全ての業務を行わなけ
ればなりませんが、原一探偵事務所では調査の専門部署が
ありさらに調査のジャンル分けがされているため各専門家が
高度に連携をしてさまざまな調査を成功させるよう真摯に
向き合っています。

原一探偵事務所 調査部 菅家さんに インタビュー！



警備員や宅配便などの仕事を経験した後に入社。本社での数年勤務を経て立ち上げ
のメンバーとして7年間札幌拠点でスキルを磨いた後、本社で特別機動追跡班として
チームをけん引しています。得意な調査は追尾調査。札幌拠点での雪道の追尾の経験
から、どんなシチュエーションの追尾も得意になりました。探偵として大切にしている
ことは、法令や倫理規範（コンプライアンス）を順守することです。

皆さんが探偵をイメージする時にはどこかアウトロー的なイメージを持たれている人
も多いと思いますが、原一探偵事務所は社内ではスーツですし普通の会社と変わりま
せん。探偵だからこそ、よりコンプライアンスを意識し、社会に貢献する企業、お客様

の不安を解消できる存在でいなくてはならないと考えています。お客様の不安をなくして安心して依頼していただけるように、原一探偵事務所では服装・時間・挨拶・身だしなみに関して厳しく教育されています。調査部なので直接お客様にお会いしませんが、見た目やしぐさ、言葉遣いなどお客様の存在を常に意識しています。

部署紹介

調査 マネジメント部

お客様に直接会える唯一の部署

調査マネジメント部の主な業務はお客様が抱えるお悩みの状況を詳しく聞いて、解決するための調査方法を提案することです。

調査をしなくてもアドバイスなどを行うこともありますし、いざ調査することになればチーム内はもちろん、お客様と連携をとりながら調査を進めていきます。結果を報告した後は今後どうするかのアドバイスや弁護士との紹介などアフターフォローを行っています。

対面でお話を聞くので、お客様の気持ちや直接肌で感じ・理解してアドバイスができるのは調査マネジメント部だからこそ。お客様のことを第一に考えて提案した調査結果で悩む事を解決に導くためにどんな努力も惜しみません。

お客様の一番の味方になり
お悩みの解決方法を考える

実は身の回りにおける不審な状況確認およびストーカー被害の事実確認を行うのも調査マネジメント部の仕事です。お客様の「状況」を知ること



に関すること全般を行っています。直接会う調査マネジメント部では「お客様が知り合い」だったなんてエピソードも！ 守秘義務がしつかりしているとはいえ、お互いにとっても驚いたそです。

調査マネジメント部では疑心暗鬼になっているお客様のために、親身になってリラックスして話をしてもらえるように心がけています。お客様にとって一番良い解決方法を見つけるために、常に優しくよりそっています。



原一探偵事務所 SDGs への 取り組み

Vol. 3

地域社会への社会貢献の
取り組み

原一探偵事務所では地域への社会貢献として以下のような取り組みを積極的に行っています。

■子ども110番の家(川越本社)
安心して暮らせる街づくりへの取り組みとして地域の防犯活動「子ども110番の家」に登録されています。

■子ども食堂応援基金(川越本社)
川越本社に設置された自動販売機の売り上げの一部が「子ども食堂応援基金」に寄付される取り組みを行っています。

■災害時応援協定
探偵業における経験を活用し、災害発生時に各種応急復旧活動に関する人的・物的支援をする「災害時応援協定」を川越市と結びました。

■防犯パトロール(札幌)
自主防犯ボランティア活動の「青色回転灯防犯パトロール(青パト)」などの地域の防犯活動に参加しています。

■寄付活動(全国)
「東日本大震災」や各地域でおきた災害に対して義援金の寄付や養護施設への寄付を定期的に行っています。

他にも全国に拠点のある原一探偵事務所では各地域のボランティアへの積極的参加や地域のイベントへの参加も行っています。探偵のノウハウをいかしたSDGsの視点で社会貢献への取り組みはこれからも継続的に行っていく予定です。

Information

- ・高松に新拠点を立ち上げました
- ・高崎・大宮・横浜の3拠点を移転しました
- ・関連会社『(株)ダイイチオートサービス』のホームページをリニューアルしました



探偵ニュース WEB 版はこちら